

# ゆめぽけっと

## クラブ通信

12月号



### 「ゆめぽけっとクラブの休所対応について」



先月、インフルエンザ等での感染者が増えたため、学校閉鎖になりました。それに伴い、ゆめぽけっとクラブも休所となりました。放課後児童クラブの役割としては、保護者が働いており、家に一人であることができない年齢の児童が利用するもので、学級閉鎖等の場合も開所することが原則ではありますが、ゆめぽけっとクラブにおいても感染症の予防に配慮することが必要であり、学校や地域で感染が拡大している場合には、公民館長が臨時休所を判断することとしています。また、感染症の流行に伴い学級閉鎖の学級に在籍している児童は、感染症の症状がなくても閉鎖期間中“ゆめぽけっとクラブ”の利用はできないものとしていますので、ご了承ください。これからの季節、まだまだ感染症対策が重要になりますので、引き続き感染症対策にご留意ください。



※冬休み期間は、8時30分までに登所してください。遅れる場合は必ず連絡を入れてください。

#### 冬休み期間の持ち物について

- ・宿題 ・お弁当  
(chromebook の充電も忘れずに！)
- ・しずかちゃんタイムのタオルケット等
- ・クッキングの日のエプロン、うわばき

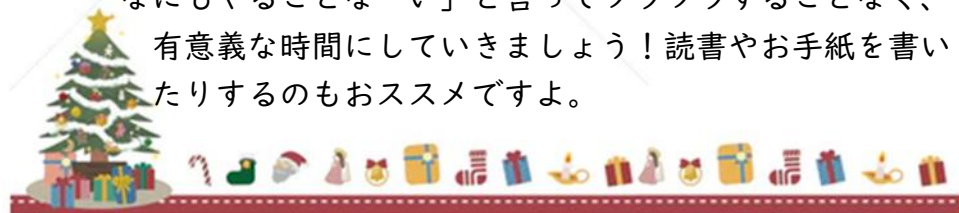


12/24 (水) 1/7 (水) クッキングの日

◆12/25 (木) は鳥追いの旗づくりを行います

宿題の時間や静かに過ごす時間をどうやって過ごしますか？  
宿題のほかにドリルや問題集を持参するお子さんもいます。

「なにもやることない」と言ってフラフラすることなく、  
有意義な時間にいきましょう！読書やお手紙を書いたりするのもおすすめです。



#### ～こどもにお手伝いしてもらうことの意味～

「お手伝い」はまさにこどもたちの生活体験の場であり、家族の役に立ちたいという思いの表れでもあります。そして、親からこどもに「ありがとう」「助かったよ」というねぎらいの言葉は家族の一員である証で、自己肯定感を高めます。大人の側からすると、「自分でやったほうが早い」とか「かえって手間がかかる…」と思うかもしれませんが、体験を積み重ねることで試行錯誤しながら徐々にスキルアップしていくのだと思います。お手伝いは、大切な親子のコミュニケーションであるとともに、自立させるための必要不可欠な体験と言えるかもしれません。

自分から「やりたい！」と言ってくる時がチャンスかもしれません！ゆめぽけっとクラブでもいろいろお手伝いをお願いすることがあります。高学年になるにつれて「えー！(;・`Д´)」という一言が入りますが、ご家庭でも長いお休みの間、是非、こどもたちにお手伝いをお願いしてみてください。







福豆子に変身中?!



自家製ハンモック?!



ちょっと何して遊んでいるか  
わかりませんでした(\*'艸`)

